

(資料提供)

平成28年4月21日

県民文化局文化振興課

直通：225-1371

内線：3841、3852

石川県立美術館

直通：231-7580

## 石川県文化財保存修復工房リニューアルオープン記念式典について

石川県文化財保存修復工房のリニューアルオープンを祝して、下記の通り記念式典を開催しますので、ご案内します。

### 記

#### 1 日 時

平成28年4月24日(日) 11:00～12:00

#### 2 場 所

石川県文化財保存修復工房・石川県立美術館広坂別館  
金沢市出羽町1番1号(石川県立美術館隣)

#### 3 内 容

##### [式典]

- (1) 開 式
- (2) 式 辞 石川県知事 谷本正憲
- (3) 祝 辞
- (4) 来賓紹介
- (5) テープカット
- (6) 閉 式

##### [施設案内]

修復工房ガイダンス室、見学スペース、修復室他

#### 4 その他

一般公開 13:00～

※報道関係の皆様は、内見会(4月23日)を開催します。(詳細別紙)

別紙

石川県文化財保存修復工房内見会の開催について

1 趣旨

平成28年4月24日（日）にリニューアルオープンする石川県文化財保存修復工房の視察を通して、工房についての理解を深めていただき、県民をはじめとする多くの方々に来館いただけるよう協力を願う。

2 対象

報道関係者

3 日時

平成28年4月23日（土） 14:00～15:30

4 参集場所

石川県文化財保存修復工房・石川県立美術館広坂別館  
金沢市出羽町1番1号（石川県立美術館隣）

5 内容

- （1）概要説明
- （2）石川県文化財保存修復工房視察

6 案内者

県立美術館長、県土木部 他

※文化財を扱う施設のため、非公開エリア（修復室等）では、フラッシュ、ライト等を使用した撮影はご遠慮願います。

## 主な修復実績

石川県文化財保存修復工房では、設立以来、国・県・市町等の指定文化財の修復などを多数手がけてきました。

### 重要文化財 <sup>せいこず</sup>西湖図 紙本墨画 1幅 秋月等観筆

所蔵・石川県立美術館

制作年代・弘治(明)9年(室町・明応5年・1496)

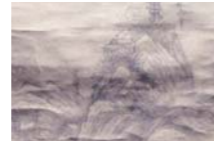
修復年度・平成25年度

西湖とは中国浙江省杭州市にある湖で、画題として好まれる景勝地。秋月等観は室町時代後期の禅宗画僧で、雪舟の弟子となった。

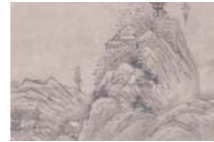
【修復内容】全体に横折れが目立ち、糊離れなども見られたが、これらを解消し、表具裂の新調を行った。また、修復の際、軸木の墨書により、享保15年(1730)に本格的な修復が行われたことが判明した。



修復前



修復後



### 重要文化財 <sup>いしぐろのぶよし</sup>石黒信由関係資料 1,662点(全3,764点の内)

所蔵・一般財団法人高樹会(射水市新湊博物館保管)

制作年代・江戸時代後期(18~19世紀)

修復年度・平成15年度~継続中

石黒信由ら石黒家4代による和算、西洋数学、天文・暦学、測量術、絵図作成などに関する資料群。

【修復内容】文書や絵図の虫喰い穴などにつくろいを施した。また、過去の修復の際にずれて継がれていた絵図面を正しい位置に継ぎ直した。

修復前



修復後



### 石川県指定有形文化財 <sup>いんにやくみょうじんすいじやくず</sup>印鑰明神垂迹図 絹本着色 1幅

所蔵・印鑰神社(七尾市)

制作年代・南北朝時代(14世紀)

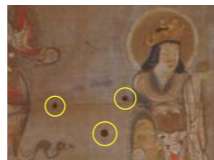
修復年度・平成23年度

印鑰明神とは、古代の国衙の公印と蔵の鑰(かぎ)が神格化されたもので、能登国衙と深いつながりをもつ守護神として描かれた。印鑰神の図様は全国的にも珍しく、貴重である。

【修復内容】全体に横折れが目立ち、絵具の剥落や油類の染みなどの汚損が見られたが、これらを解消し、表具裂の新調を行った。また、軸先や保存箱も新調した。



修復前



修復後



### 金沢市指定有形民俗文化財 <sup>あわがさきはちまんじんしゃほうのうえま</sup>粟崎八幡神社奉納絵馬 3面(全13面の内)

所蔵・粟崎八幡神社(金沢市)

制作年代・江戸時代後期(19世紀)

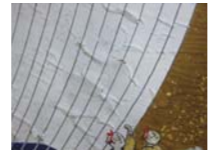
修復年度・平成25年度

北前船の船主や船頭らが船の完成祝いや航海の安全祈願、無事に帰港した記念として神社に奉納した船絵馬。木製の大きな額面に紙を張りつけて彩色が施されている。

【修復内容】<sup>にかわ</sup>膠水溶液を用いて、絵具の浮きや剥落をpushした。



修復前



修復後



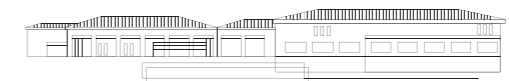
# 石川県文化財保存修復工房

Ishikawa Conservation of Cultural Properties Studio



平成28年4月  
リニューアル  
オープン

## 石川県立美術館



ISHIKAWA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

上記文化財は、修復工房ガイダンス室や見学スペースにて、映像やパネルで解説しています。 ※各所蔵元において常時公開されてはおりませんので、ご注意ください。

お問い合わせ 石川県立美術館 〒920-0963 石川県金沢市出羽町2-1 TEL:076-231-7580 <http://www.ishibi.pref.ishikawa.jp>  
〔広坂別館・文化財保存修復工房〕 〒920-0963 石川県金沢市出羽町1-1 TEL:076-221-8810

# 石川県文化財保存修復工房の概要

石川県には藩政時代から受け継がれ、はぐくまれた文化的な土壌があり、県内には様々な美術工芸品が遺されています。石川県文化財保存修復工房は、こうした文化資産を良好な状態で保存し、永く後世に引き継ぐことを目的として、平成9年に石川県立美術館の附属施設として石川県庁出羽町分室に開設されました。このような保存修復施設は、地方自治体としては、全国で唯一、本県のみが設置しています。開設以来、県内外の修復依頼を受けて着実に実績を積み重ね、国・県・市町等の指定文化財の修復にも携わると同時に、伝統的な技術を継承するべく、若い技術者を指導、育成しています。

平成28年4月、機能のさらなる拡充を図るため、県立美術館広坂別館の隣接地に移転し、リニューアルオープンする運びとなりました。今後も、修復技術にさらに磨きをかけるとともに、多くの方に文化財保存に対する理解を深めていただくなど、北陸における文化財保存修復の拠点として努力を続けていく所存です。

# 整備概要

## 文化財保存修復工房

構造：鉄筋コンクリート造、平屋建  
延床面積：533㎡

- ◆ 漆工芸の盛んな石川ならではの「漆工芸修復室」の新設や「表具修復室」の面積拡張など、機能を充実させて様々な修復需要に対応します。
- ◆ 全国で初めて、実際の修復作業を常時公開する「見学スペース」や、文化財の修復過程、技術、保存修復の大切さを映像・パネルで紹介する「ガイダンス室」を設置しました。

## 県立美術館広坂別館

構造：木造、平屋建  
延床面積：234㎡

- ◆ 大正11年に旧陸軍の第九師団長官舎として建築され、平成20年から県立美術館の広坂別館として活用しています。文化財保存修復工房の移転にあわせて耐震工事をを行いました。
- ◆ 歴史的建造物のレトロな雰囲気を味わえる「多目的室」・「和室」を広く一般に開放しており、文化活動などの場として、気軽にお使いいただけます。

## 石川県立美術館 広坂別館

### 修復工房ガイダンス室

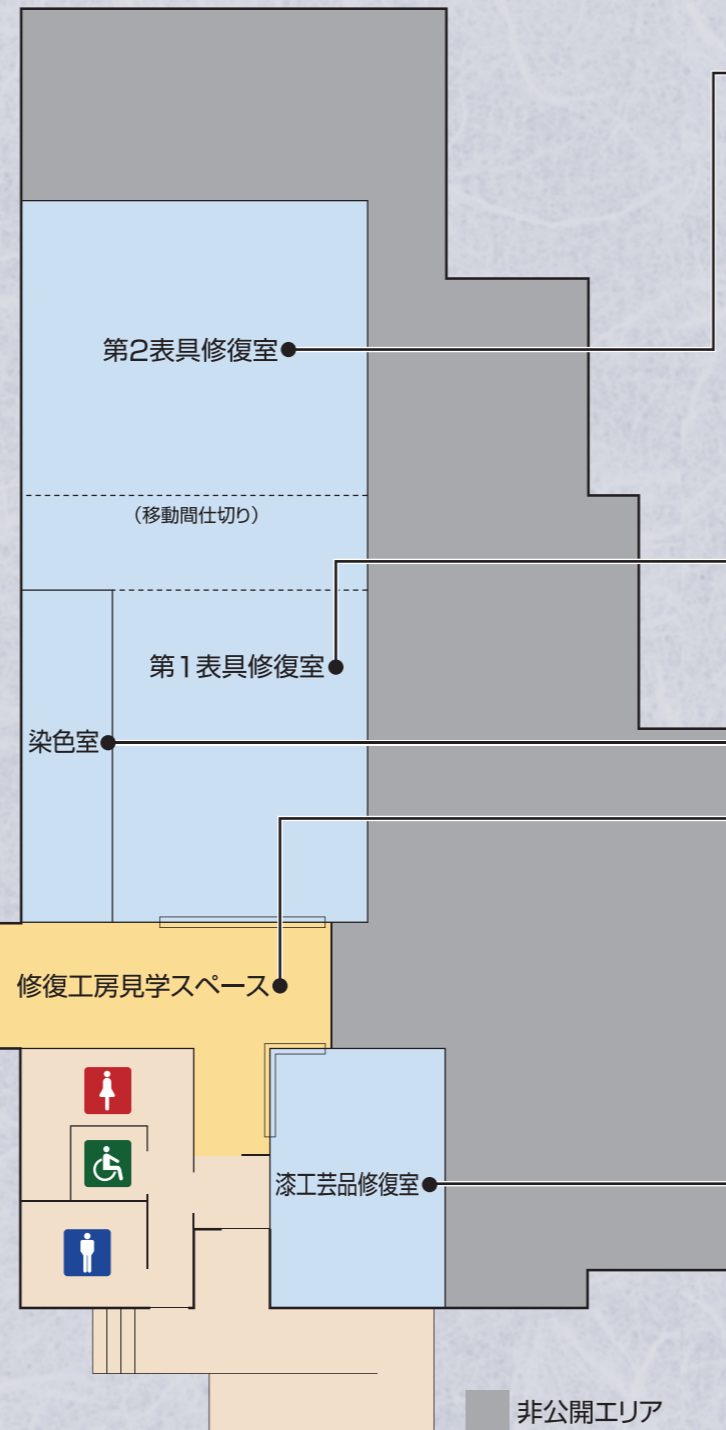


修復作業の工程を映像やパネルで紹介しています。ディスプレイでは、掛軸・古文書・屏風・絵馬の各作品の修復事例を映像でご覧いただけます。



「修復文化財の事例紹介」映像

## 石川県文化財保存修復工房



### 第1表具修復室



### 第2表具修復室



主に軸装(掛軸・卷子)、幀装(屏風・襖・額)、帖装(冊子・画帖)等の装演文化財の修復を行います。第1と第2修復室の分割壁は可動式で、大型作品の修復にも対応できます。

### 染色室

修復作品に合わせて補修紙や裂の染色等を行います。

### 漆工芸品修復室



漆工芸品の修復を行います。特に注意が必要な仕上げ作業は奥の部屋で行います。

### 修復工房見学スペース



「修復作業の事例紹介」映像

「表具修復室」と「漆工芸品修復室」の修復作業を窓越しに見学することができます。ディスプレイでは、修復技術者の手元をアップした動画で修復作業の様子を紹介しています。

